

(2-5-2) 沿岸域の地震活動の把握

1. 詳細な震源分布から地震発生層深度を推定
2. 海域活断層のすべり方向の推定



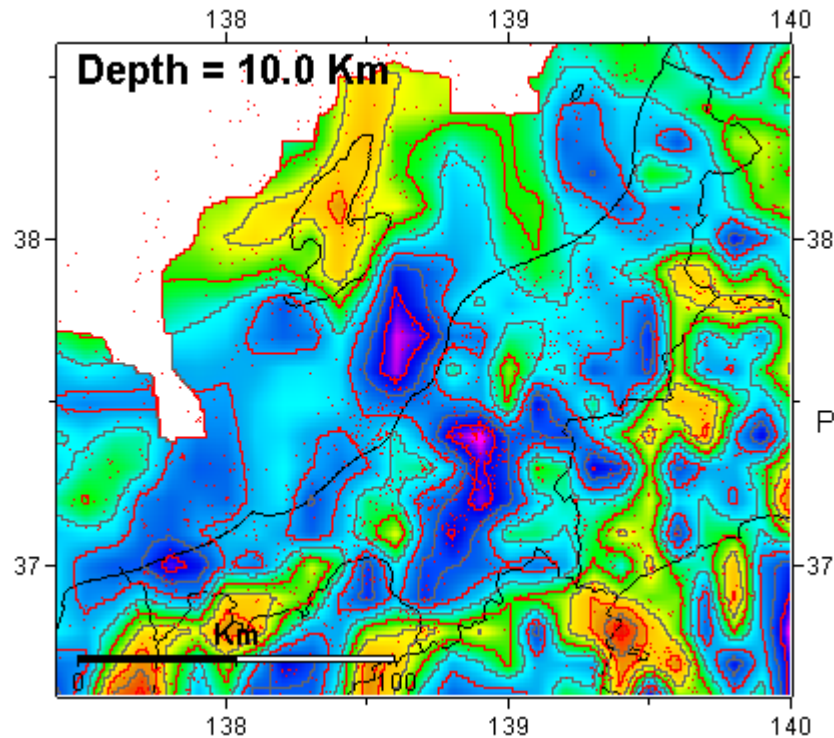
震源断層モデル構築へ貢献

H28年度事業内容

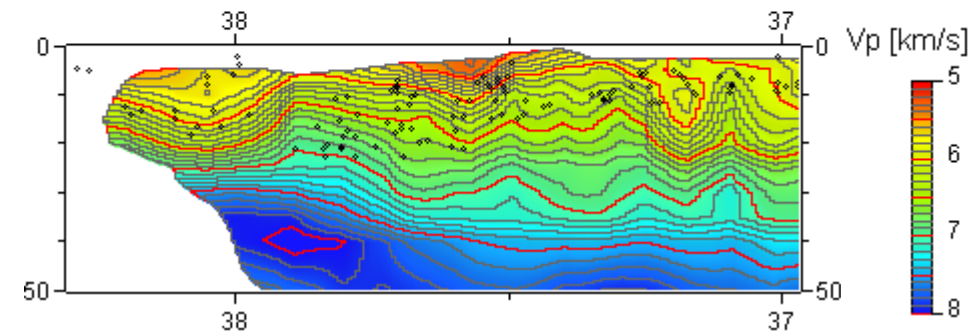
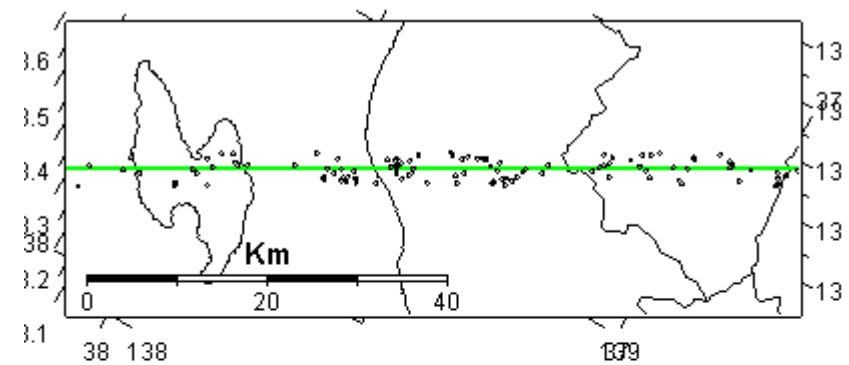
- 新潟県を中心に改良された三次元速度構造を用いて震源再決定
- 震源断層モデルの地震発生層深度の情報の更新
- 2004年以前に既存の観測網で観測された東北地方南部および北陸・近畿地方における自然地震の地震波到達時刻の読取作業
- 発震機構解を基に応力場の推定

既存の三次元速度構造

● H27年度による新潟県周辺の速度構造



P波速度
パターンベーション[%]



● 震源再決定中

自然地震データ解析

- 2004年以前に既存の観測網で観測された自然地震の地震波到達時刻の読取作業
- ◆ 2004年以前に防災科研Hi-netシステムでは読み取っていない大学などの観測点における地震波データの読取作業
- ◆ 北陸・近畿地方→実施中
- ◆ 東北地方南部

自然地震データ解析

- 震源断層モデルの地震発生層深度の情報の更新

- ◆ 三次元構造による再決定震源



- ◆ 地震発生深度（上限・下限・厚さ）の際推定

- ◆ 2004年以前は大学等の観測点を使用していないため震源が深く決まる傾向



- ◆ 2005年以降の地震を活用



自然地震データ解析

- 発震機構解を基に応力場の推定
 - ◆ 防災科研F-netによる応力場の推定
 - ✓ M3.5以上の地震による推定
 - ✓ 微小地震では推定不可能



- ◆ 三次元構造による震源再決定
- ◆ 初動解メカニズム解の推定

まとめ

- 新潟県を中心に改良された三次元速度構造を用いて震源再決定を実施中
 - 2004年以前に既存の観測網で観測された北陸・近畿地方における自然地震の地震波到達時刻の読取作業を実施中
 - 終了後東北地方南部を着手予定
 - 再決定震源カタログを用いて
 - ◆ 震源断層モデルの地震発生層深度の情報の更新
 - ◆ 再決定震源カタログを用いて発震機構解を基に応力場の推定
-